

2024年3月1日

各位

三井住友信託銀行株式会社

トランジション・ローンの契約締結について
(マツダ株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、マツダ株式会社(代表取締役社長兼 CEO:毛籠 勝弘、以下「マツダ」)との間で、マツダが策定し、2024年1月26日に公表した「マツダ・サステナブル・ファイナンス・フレームワーク(以下「同フレームワーク」)(※1)に基づく「トランジション・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

トランジション・ローンは、気候変動リスクへの対策を検討している企業が、脱炭素・低炭素社会への移行に向けて、長期的な戦略に則ったCO₂削減の取組を行っている場合に、その取組を支援することを目的とした融資です。企業が気候変動関連のリスクに効果的に対処するために掲げている科学的根拠に基づくクライメート・トランジション戦略とガバナンスおよびビジネスモデルにおける環境面のマテリアリティを評価し、パリ協定の目標達成への活動を促進するものです。

本件は、グリーンローン原則2023(LMA等)(※2)、グリーンローンガイドライン2022(環境省)、クライメート・トランジション・ファイナンスハンドブック2023(ICMA)(※3)、およびクライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針2021(金融庁・経済産業省・環境省)に即した融資契約であり、また、同フレームワークは、当原則・ガイドライン等への適合性について株式会社日本格付研究所による第三者評価(※4)を取得しています。

当社では、トランジション・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<マツダについて>

マツダは、地球と社会に責任を持って事業活動を行っていくことを重要な使命と考え、「ひと中心」の価値観のもと「走る歓び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる歓び」を届けることを目指しています。2022年には、『「走る歓び」で移動体験の感動を量産するクルマ好きの会社になる』を「2030 VISION」として策定し、2050年のサプライチェーン全体におけるカーボンニュートラル実現に向けた取組み、電動化戦略、安全・安心なクルマ社会の実現への貢献を「2030 経営方針」における主要な取組として掲げ、グローバル自社工場のカーボンニュートラル、バッテリーEVやプラグインハイブリッド車などの開発・製造、先進安全技術・高度運転支援技術の開発・製造などに取組んでいます。

なお、同フレームワークは、経済産業省の『「トランジション・ファイナンス」に関する自動車分野における技術ロードマップ』(※5)を活用しており、経済産業省クライメート・イノベーション・ファイナンス推進事業(※6)の対象として採択されています。

<本件概要>

企業名	マツダ株式会社
契約締結日	2024年3月1日
資金使途	同フレームワークで定める適格クライテリアのうち、以下に関連する事業・プロジェクトに対する支出 ① バッテリーEVの開発・生産 ② マルチソリューション(※7)によるCO ₂ 排出量の削減 ③ 工場内発電の脱炭素化 ④ 再生可能エネルギーの調達 ⑤ 自動車製造工程におけるエネルギー効率の改善

(※1) マツダ・サステナブル・ファイナンス・フレームワークの詳細はこちら

https://www.mazda.com/globalassets/ja/assets/investors/library/sustainable_finance/files/framework_240126_j.pdf

(※2) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※3) 国際資本市場協会(ICMA)

スイスに本部を置く(1969年設立以来チューリヒ)国際団体であり、世界60カ国の発行体、発行市場・流通市場取引仲介業者、アセット・マネージャー、投資家、資本市場インフラ運営者等500以上の会員から構成されています。

(※4) 株式会社日本格付研究所による評価の詳細はこちら

https://www.mazda.com/globalassets/ja/assets/investors/library/sustainable_finance/files/second_party_opinion_240126_j.pdf

(※5) トランジション・ファイナンスに関する自動車分野における技術ロードマップ

Hard to Abate 産業の2050年カーボンニュートラル実現に向けた具体的な移行の方向性を示すため、経済産業省が策定した、経済産業分野におけるトランジション・ファイナンス推進のための技術ロードマップです。自動車分野におけるロードマップ詳細は、経済産業省のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.meti.go.jp/press/2022/03/20230330005/20230330005.html>

(※6) 経済産業省クライメート・イノベーション・ファイナンス推進事業

トランジション・ファイナンスの普及のため、指定審査委員会によって適合性が認められたトランジション・ファイナンスでの資金調達に際し、第三者評価を行う指定外部評価機関に対して補助金を交付する事業です。

詳細は経済産業省より執行业務を受託した、一般社団法人低炭素投資促進機構のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.teitanso.or.jp/cif2/>

(※7) マルチソリューション

クルマのライフサイクル全体での CO₂排出量削減に向けて、高効率な内燃技術や電動化技術、代替燃料等さまざまな組み合わせとソリューションを持ち、世界各地のエネルギー源・発電形態等を踏まえた適材適所でのアプローチを自治体や他産業と連携しながら推進する方針です。

以 上